

看護学科

人材養成および教育研究上の目的

看護学科は、生命の尊厳に基づいた心豊かで総合的な人間教育を基盤として、創造的で国際的・学際的視野に立った論理的・倫理的な看護実践能力を育成し、看護学の発展及び地域・国際社会に貢献することを教育研究の理念とする。この理念に沿って、高い倫理観を基盤として、豊かな教養と感性を備え、高度な専門知識と技能を有し、広く社会に貢献できる優れた看護専門職者を養成することを目的とする。

三つのポリシー

❖ アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

看護学科は、「生命の尊厳に基づいた心豊かで総合的な人間教育を基盤として、創造的で国際的・学際的視野に立った論理的・倫理的な看護実践能力を育成し、看護学の発展並びに地域・国際社会に貢献すること」を教育理念とし、次のような人たちを受け入れます。

1. 看護学を学ぶための基礎的な学力を備えている人
2. 人の生命を尊び人々の健康生活のよりよいあり方に関心を持つ人
3. 優れた看護専門職者になろうとする高い意欲と感受性に富む人
4. 基本的マナーや倫理観、協調性を身につけた心豊かな人
5. 人間に興味を持ち、他者への配慮・思いやり・尊重する態度を持つ人
6. 自ら課題を見出し主体的・創造的に探究して自己の成長を目指す人

❖ カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

看護学は人間の様々な健康問題に焦点を当て、その人らしく豊かな人生を送るための全人的理解と援助を行う学際的な実践学であるため、次のような教育を実施します。

1. 生命や人間の権利を尊重・擁護し倫理的判断と行動ができる能力を培う教育
2. 健康問題を総合的視野で思考できる能力と論理的判断力・実践能力を培う教育
3. 保健医療福祉などの関連領域の人々と連携・協働できる学際的調整能力を培う教育
4. 国際的な視野と柔軟な思考を持ち、広く地域・国際社会で活躍できる能力を培う教育
5. 主体的な研究態度を身につけ、自らの専門領域を発展させる能力を培う教育





❖ ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに沿った教育を行い、次のような人材を社会に送り出します。

1. 実践・教育・研究の場に、将来資質の高い看護専門職として活躍できる人
2. 地域の看護専門職者と相互交流を図り、保健医療福祉に貢献できる人
3. 課題に対して科学的根拠に基づいて探究する態度を身につけた人
4. 国際的視野を持ってグローバルな活動が出来る人
5. 社会のニーズや変化に対応した看護専門職者として社会貢献ができる人

